

令和 5年 2月「月 報」

1 はじめに

昨年末に「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」、「防衛力整備計画」が決定され、防衛力の抜本的強化の年がスタートしました。

1月11日に行われた、外務・防衛担当閣僚による安全保障協議委員会では、相手にミサイル攻撃を思いとどまらせる「反撃能力」の共同運用を確認するとともに、南西諸島の防衛を中心とする自衛隊と米軍の連携強化を打ち出しました。また、これまで陸海空とサイバー空間としていた、日米安全保障条約5条（日本の施政下で武力攻撃があったときに米国が防衛することを規定）の対象を、宇宙空間に拡大することで合意しました。

現代戦では宇宙空間の活用の重要性が増しており、衛星で得た目標情報を基に攻撃目標を定めて攻撃することが効果を上げているのは、よく知られているところです。日常に目を転じれば、気象衛星は言うまでもなく、私たちは、GPS等 衛星の機能に依って生活を送っていることが分かります。他国により日本の衛星が攻撃された場合には、社会全体がマヒしてしまうことは想像に難くありません。衛星防護は益々重要になるでしょう。

さて、2月、各地で入隊・入校予定者激励会が予定されていることと思います。

引き続き、新型コロナウイルスの影響で開催の可否判断を迷うことが多いと思いますが、感染防止対策を行った上で、新しく入隊・入校する若者を激励するとともに、ご家族が本会に入会して頂く絶好の機会でもあります。新たに配布した本会のパンフレット、おやばと2月特集号、総合募集情報誌「ディフェンスワールド23」等を活用して、各地本との密接な連携の下、「会員獲得一人が1人」を実践し、入会者の獲得につなげていきましょう。

2 防衛省・自衛隊の活動（統幕、各自衛隊等 HP より）

（1）第1空挺団降下訓練始め

1月8日、第1空挺団（習志野駐屯地）が習志野演習場で令和5年降下訓練始めを行い、浜田防衛大臣が視察するとともに、隊員を激励しました。



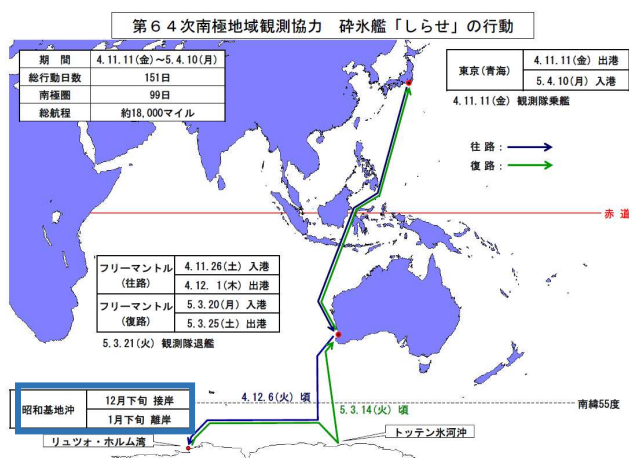
本行事には、米軍、英軍、豪軍が参加し、共通の価値観のもと、連携を強化しました。

1月10日（火）第2航空団（千歳基地）は飛行始めとして、令和5年最初の飛行訓練を行いました。前日からの降雪により実施が危ぶまれましたが、天候が回復し、無事に実施できたとのことです。第2航空団は、令和4年度上半期（4月1日～9月30日）に70回を数える対領空侵犯措置としての緊急発進をはじめ、北朝鮮が弾道ミサイルの可能性のある物を発射した際には、戦闘機による上空からの情報収集を行っています



（3）第64次南極地域観測協力

海上自衛隊は、令和4年11月から砕氷艦「しらせ」による第64次南極地域観測協力を実施しています。艦長 波江野（はえの）1海佐以下約180名の乗員は、12月下旬に昭和基地沖に接岸しました。この月報がお手元に届く頃には離岸して帰国の途に就いていることでしょう。



※ 現地で昇任伝達

3 家族会の活動

(1) 第19次派遣海賊対処行動支援隊を激励

1月15日、黄木 山形県家族会会長は神町駐屯地で開催された、第19次派遣海賊対処行動支援隊の壮行会に出席し、激励品を渡して派遣隊員を激励しました。今回派遣されるのは、山形県東根市の神町駐屯地に駐屯する第6師団第20普通科連隊基幹、丸山3佐率いる80名で、1月31日に仙台空港と成田空港から出国しました。

半年の派遣期間、ご健康でのご活躍をお祈りいたします。(写真：6師団広報提供)



黄木 山形県家族会会長



(2) 第44次派遣海賊対処行動水上部隊を激励

1月17日、野呂青森県自衛隊家族会会長と越前むつ市自衛隊家族会会長が、青森県むつ市の海自大湊基地を訪問し、第44次派遣海賊対処行動水上部隊を激励しました。第7護衛隊司令藤井1等海佐及び護衛艦「まきなみ」艦長野瀬浩司2等海を含む210名に海上保安官8名からなる水上部隊は、1月22日(日)、大湊基地を出港、厳冬期の日本海を南下して3月上旬には現地に到着するとの事でした。海賊対処行動等の訓練を実施しながら現地に向かうとの事で、同乗する海上保安官との連携を重視しているそうです。現地では派遣されている諸外国の艦艇及び航空機等と連携しつつ監視任務にあたり、帰国の途に就くのは8月上旬頃との事でした。派遣される藤井司令以下、水上部隊の皆様が無事に任務を完遂される事を祈念しております。



越前会長

藤井司令

野呂県会長

野瀬艦長

※ 昨年9月に海自佐世保基地から出国した第43次派遣海賊対処行動水上部隊は現地で任務遂行中です。昨年12月の活動では、直接警備1隻/1回、各国が連携して行うゾーンディフェンス18日で、国際社会の平和と安定に貢献中です。



← 警戒に当たる
「すずつき」の隊員
ジブチ海軍との
親善訓練 →
(統幕HPより)



(3) 第51次派遣海賊対処行動航空隊を激励

1月26日、野呂青森県家族会会長、室谷八戸市自衛隊家族会会長が海上自衛隊八戸航空基地を訪問し、第51次派遣海賊対処行動航空隊を激励しました。



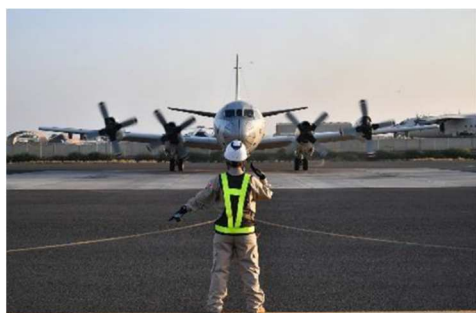
第2航空群司令石川海将補のお話によれば、青森県内では新型コロナウイルス感染症の新規患者の数は減少傾向にあるものの、派遣予定の要員の健康を維持するため外部との接触を断ち、万全の態勢で準備を進め、現地ジブチに到着後も警戒監視活動と併せて新型コロナウイルス感染症に対する予防措置を実施する等、緊張が続く勤務となるようです。

石川群司令 田村首席幕僚
室谷八戸市会長 野呂青森県会長

第2航空群所属の川村2海佐を指揮官として、P-3Cが2機、1月30日に八戸航空基地を飛び立ち、その他の要員は1月31日に仙台空港から出発しました。くれぐれもご無事で人を達成されますようにお祈り申し上げます。

第2航空群所属の川村2海佐を指揮官として、P-3Cが2機、1月30日に八戸航空基地を飛び立ち、その他の要員は1月31日に仙台空港から出発しました。くれぐれもご無事で人を達成されますようにお祈り申し上げます。

写真は、11月から任務に就いている第50次隊の活動状況。(統幕HPより)



4 事務局からの連絡・お願い

(1) 北方領土返還要求運動全国大会の開催について

令和5年北方領土返還要求運動全国大会は、2月7日(火)11:30～12:40の間、国立劇場(千代田区)にて開催されます。過去2回は新型コロナ感染防止のため無観客開催でしたが、今回は、数を制限しつつも3年ぶりに観客を入れ、さらに、全国大会の様子を映像配信することとなりました。

当日は、増田会長、宮下副会長、各運営委員が出席、首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城)の各家族会の皆様にお席をお願いしております。

また、岸田総理大臣、林外務大臣の挨拶後、「署名活動の現場から」で本会の荒木理事が演壇より発言する予定となっております。

以下のURL及び2次元バーコードでご覧いただけますので、是非ご覧ください。

URL: <https://youtu.be/Gr4rpZEMJqI>



※ 先月お伝えしたとおり、「北方領土返還要求署名用紙」は
3月中に希望配布先にお届けできるように手配しております
ので、宜しくお願いします。

(2) 令和5年度「収支予算書」について

令和5年度収支予算書の報告期限は、2月24日（金）です。

事務局で取りまとめ、3月の理事会での審議、内閣府へ提出する資料の原資料です
ので、期限厳守でお願いします。

以上